

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成19年11月15日(2007.11.15)

【公開番号】特開2006-101009(P2006-101009A)

【公開日】平成18年4月13日(2006.4.13)

【年通号数】公開・登録公報2006-015

【出願番号】特願2004-282479(P2004-282479)

【国際特許分類】

<i>H 04 N</i>	<i>5/232</i>	<i>(2006.01)</i>
<i>H 04 N</i>	<i>5/225</i>	<i>(2006.01)</i>
<i>H 04 N</i>	<i>7/16</i>	<i>(2006.01)</i>
<i>H 04 N</i>	<i>7/173</i>	<i>(2006.01)</i>
<i>H 04 N</i>	<i>7/18</i>	<i>(2006.01)</i>

【F I】

<i>H 04 N</i>	<i>5/232</i>	<i>B</i>
<i>H 04 N</i>	<i>5/225</i>	<i>F</i>
<i>H 04 N</i>	<i>7/16</i>	<i>Z</i>
<i>H 04 N</i>	<i>7/173</i>	<i>6 4 0 Z</i>
<i>H 04 N</i>	<i>7/18</i>	<i>E</i>

【手続補正書】

【提出日】平成19年9月27日(2007.9.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

カメラの動作を制御し、前記カメラから得られる映像をネットワークを介して受信する映像受信装置であって、

前記カメラの動作を制御する動作要求コマンドを発行するコマンド発行手段と、

前記ネットワークの通信状況に応じて、前記コマンド発行手段により発行可能な動作要求コマンドに対応するユーザインターフェースの表示を変更する変更手段と、  
を有することを特徴とする映像受信装置。

【請求項2】

前記変更手段は、前記通信状況が予め定めた基準より悪いと判定すると、少なくともパン、チルト、ズームおよび逆光補正のうち少なくとも1つを含むカメラの操作コマンドに  
対応するユーザインターフェースから、予め設定された動作を行うカメラの操作コマンドに  
ユーザインターフェースの表示を変更することを特徴とする請求項1に記載の映像受信装置。

【請求項3】

前記予め設定された動作は、前記カメラに設定された複数のプリセット位置を巡回する動作、前記カメラのパン能力の左右の端から端までの動作、および前記カメラの全視野を  
スキヤンする動作のうち少なくとも1つを含むことを特徴とする請求項2に記載の映像受信装置。

【請求項4】

カメラの動作を制御し、前記カメラから得られる映像をネットワークを介して受信する映像受信装置の制御方法であって、

前記ネットワークの通信状況に応じて、前記カメラの動作を制御する動作要求コマンドに対応するユーザインターフェースを変更する変更工程と、

前記変更工程で変更されたユーザインターフェースを介して入力された、前記動作要求コマンドを発行するコマンド発行工程と、

を有することを特徴とする映像受信装置の制御方法。

【請求項 5】

前記変更工程は、前記通信状況が予め定めた基準より悪いと判定すると、少なくともパン、チルト、ズームおよび逆光補正のうち少なくとも1つを含むカメラの操作コマンドに対応するユーザインターフェースから、予め設定された動作を行うカメラの操作コマンドにユーザインターフェースの表示を変更すること請求項4に記載の制御方法。

【請求項 6】

前記予め設定された動作は、前記カメラに設定された複数のプリセット位置を巡回する動作、前記カメラのパン能力の左右の端から端までの動作、および前記カメラの全視野をスキャンする動作のうち少なくとも1つを含むことを特徴とする請求項5に記載の制御方法。

【請求項 7】

請求項4乃至6のいずれか1項に記載の制御方法をコンピュータに実行させるプログラム。

【請求項 8】

請求項7に記載のプログラムを記憶していることを特徴とするコンピュータにより読み取り可能な記憶媒体。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】映像受信装置とその制御方法

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、カメラで撮像された映像信号を受信する映像受信装置及びその制御方法に関するものである。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

本発明は上記問題点に鑑みてなされたもので、本願発明の特徴は、ネットワークを介した通信状況に応じて、カメラの動作を制御するための動作要求コマンドを変更することにより、ユーザによるカメラの操作性を高めた映像受信装置とその制御方法を提供することにある。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】

## 【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】

## 【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 【0014】

本発明の一態様に係る映像受信装置は以下のような構成を備える。即ち、  
カメラの動作を制御し、前記カメラから得られる映像をネットワークを介して受信する  
映像受信装置であって、

前記カメラの動作を制御する動作要求コマンドを発行するコマンド発行手段と、  
前記ネットワークの通信状況に応じて、前記コマンド発行手段により発行可能な動作要  
求コマンドに対応するユーザインターフェースの表示を変更する変更手段と、  
を有することを特徴とする。

## 【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】削除

【補正の内容】

## 【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 【0016】

本発明の一態様に係る映像受信装置の制御方法は以下のような工程を備える。即ち、  
カメラの動作を制御し、前記カメラから得られる映像をネットワークを介して受信する  
映像受信装置の制御方法であって、

前記ネットワークの通信状況に応じて、前記カメラの動作を制御する動作要求コマンド  
に対応するユーザインターフェースを変更する変更工程と、

前記変更工程で変更されたユーザインターフェースを介して入力された、前記動作要求  
コマンドを発行するコマンド発行工程と、

を有することを特徴とする。

## 【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 【0017】

本発明によれば、カメラの動作制御をネットワークの通信状況に応じて変更することに  
より、カメラから得られる映像をネットワークを介して受信する映像受信装置におけるカ  
メラの操作感を向上させることができる。